

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第7号 平成30年12月20日

広がるボランティアの輪 つながる笑顔

2学期も、あと一日となりました。保護者の皆様には、日頃から山鹿中学校の教育活動に御支援をいただきありがとうございます。2学期は、子どもたちが主体となる行事や修学旅行等を通して成長する姿を実感できうれしく思います。

先日は、学校応援団「さくら会」の皆様が、朝の読み聞かせや花活に続き、まつぼっくりを使ったクリスマスツリーづくり、花苗植えの活動を行っていただきました。この活動には、山鹿市内の高校生の皆さんもたくさん参加してくれましたし、今年は本校の生徒も、生徒会、部活動、委員会として主体的に参加してくれました。

広がるボランティアの輪に触れ、寒い朝でしたが幸せな気持ちになりました。さくら会のみなさんの「できる人が、できる時に、できる事を」のモットーにいつも笑顔で活動される姿に、山中生も高校生も多くのこと学び、感じていると思います。

山中生、高校生のみなさん、そして「さくら会」の皆様、本当にありがとうございました。



平成最後のお正月、

良き新年をお迎えください。

今年も、用務の先生方の協力によって、立派な門松が玄関に飾られています。新年を迎え、しめ縄などと合わせて、健康や安心を願うものです。また、竹の切り口は、人の笑い顔に見えますが、笑顔が絶えないよう願いが込められているそうです。

いよいよ平成の時代から、新しい時代に向かいますが、未来を創る子どもたちのための学校づくりに努めていきます。良き年をお迎え下さい。

